

人間社会学部／人間形成学科・こども コース	職名	講師	氏名	董 秋艶
--------------------------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

2014年3月、九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻博士後期課程満期退学。2015年3月、九州大学より博士（教育学）の学位を取得。九州大学大学院人間環境学研究院の学際企画室テクニカルスタッフ、同研究院教育学部門助教を経て、2019年4月に本学着任。

主な研究分野は、教育学・教育社会であり、中でも特に中国の女子教育制度化に交わる日中関係に関心があり、これまで主に当時の日中両国のヒトやモノなどの動きに関する資・史料を駆使し、中国の近代女子教育の制度化過程、その制度化過程をめぐる日中関係史を解明に取り組んできた。現在は、日清戦争後の中国における日本女子教育情報の経路に関する研究を進んでいる。また、中国の近代幼児教育成立に関する日中関係史の研究にも関心がある。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ なし
- ・
- ・

② その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 董秋艶「清末中国の幼児教育制度 ―吳汝綸の日本視察（1902）を手係に―」アジア教育学会 第38回研究例会 2025年3月24日
- ・
- ・

③ 過去の主要業績

- ・ 董秋艶（2012）「日清戦争後中国における日本の女子教育情報―吳汝綸による日本視察（1902）を通して」『日本の教育史学』教育史学会紀要 第55号 72-83頁
- ・ 董秋艶（2019）「中国における乳幼児教育の現状と課題」『福岡県立大学人間社会学部紀要』第28巻 第1号、111-120頁
- ・ 董秋艶（2021）「清末中国における日本の女子教育の情報 ―下田歌子の『新撰家政学』（1900）の中国語翻訳書に着目して」『教育基礎学研究』九州大学教育基礎学研究会、第18号、2021（令和3）年3月。

3. 外部研究資金

科学研究費補助金(基盤研究C) 研究課題「清末中国における日本の女子教育情報～湯劍訳の『新撰家政学』（1902）に着目して」（22k02316）（令和3年度―令和7年度）(研究代表者)

4. 受賞

なし

5. 所属学会

教育史学会、アジア教育学会、九州教育学会、日本保育者養成教育学会

6. 担当授業科目

<学部>教育学概論A・2単位・1年・前期、保育学・2単位・2年・前期、生涯教育論・2単位・2年・後期、教育制度論・2単位・3年・後期、幼稚園教育実習事前事後指導・1単位・3年前期から4年前期、保育・教育実践演習（幼稚園）・2単位・4年・後期、幼稚園実習Ⅰ・Ⅱ・4単位・3年・前・後期、その他。 <大学院>子ども教育制度研究・2単位・1年・前期、子ども教育制度演習・2単位・1年・後期、教育課題研究A・2単位・1年・前期、教育課題演習A・2単位・1年・後期、子ども教育実践実習Ⅱ・2単位・2年、地域教育課題演習・2単位・2年。

7. 社会貢献活動

本年度は、コロナ禍以降初めて対面で開催された 福岡県私立幼稚園振興協会・福岡部会 に参加しました。各大学の教員や幼稚園教諭と意見交換を行い、本学及びこどもコースの紹介を行いました。

8. 学外講義・講演

なし

9. 附属研究所の活動等

なし